



ほけんだより かしま2018.10

9月に緊急速報でお知らせしましたが、関東地方で風しんが流行しています。群馬県でも2例目の患者さんが出ました。MRワクチンの定期接種は1歳と就学入学前の年の2回です。該当児で未接種の園児は接種をお勧めします。

10月の保健目標: 戸外遊びを積極的にする

10月10日は目の愛護デー

くぐん育つ子どもの視力

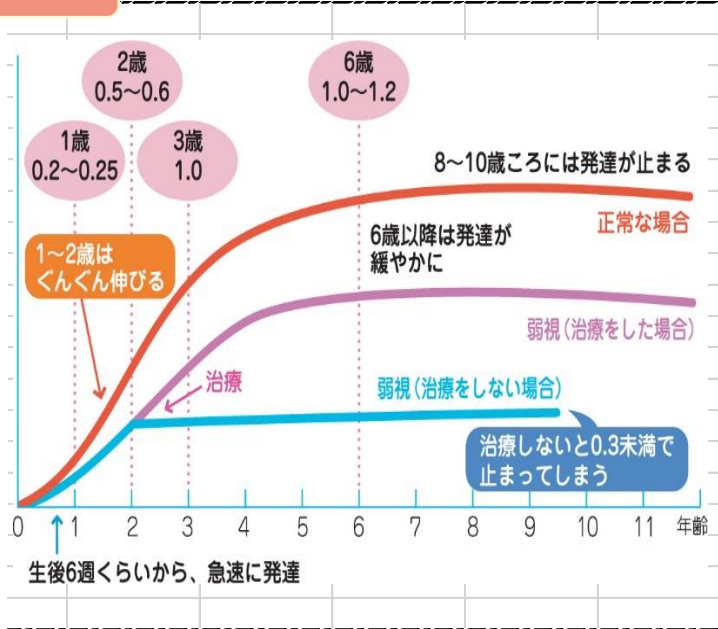
生まれたての赤ちゃんの視力は0.02くらい（明暗がぼんやりわかる）、色もわかりません。それが1歳頃には0.1程度（輪郭がぼやけて見える）、4～5歳頃で1.0くらいの視力になると言われています。

この急速に視力が発達する時期に何らかの問題でよく見ることができないと、メガネでも視力が出ない「弱視」になってしまう場合も。子どもの目に異変がないか見守りつつ、この期間はいろんなものを見せて、ものを見る力を育ててください。



10月18日(木)
健康診断を行います。

着脱のしやすい服装での登園をお願いします。特に気になることがある場合は、事前に担任までお知らせください。



2歳未満は要注意! RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなる「RSウイルス感染症」。感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するとも言われます。年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、細気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりすることもあるので「なぜかな」と感じたら、念のため病院へ行きましょう。

38~39℃
の高熱

せせせといつ呼吸音

激しいせき

鼻水

せきがひどいときは……

- 体を起こすが、縦抱きにして背中をさする
- 室温は上げすぎず、加湿する
- 水分を少しずつゆっくり飲ませる



伊勢崎市は他の市町村に先駆けて、3歳児健診時、眼科検査を実施しています。しかし、3歳になったばかりでの検査のため正確な検査ができなかったという子どもがいます。そこで保育園や幼稚園での検査が期待されています。

・園では、4年前より年中児を対象に視力検査を始めました。毎年、数名に見えづらさが見られたので、眼科受診をおすすめしました。ほとんどの園児が異常なしという結果でしたが、要観察の園児もいます。今年度も検査を行いたいと思います。ご了承ください。



運動会の練習が始まりました。靴のチェックはお済ですか。大きすぎる靴、小さすぎる靴は子どもの一番になろうとする思いをそいでしまいます。この機を利用して靴の状態を確認ください。

目の機能には、1. 視力 2. 両眼視(立体感・距離感)がある。視力は6歳、両眼視は3歳くらいまでに完成。しかし、視力は訓練で6~7歳までは発達する。乳幼児期に見逃されると後での回復は困難になる、特に両眼視。

伊勢崎市では、3歳児の検診で発見できれば治療効果が高いということで、3歳児健診に眼科検査を導入した。1746人を検査し、要治療 43人(2.5%)を発見できた。しかし、3歳になったばかりの検査なので、2次健診でも正確に測定できない園児が多い。4歳ならほとんど検査が可能。保育園、幼稚園での検査が重要。

—保育所で知っておきたい眼の話—
新田眼科 新田安紀芳先生研修より—

ワクチン接種後の有害症状は見えやすいですが、 摂取の効果は見えにくい！

ワクチン接種後の発熱や局所反応などの事象は、認識されやすい。予防接種のお蔭で、その病気に罹ることなく成長した場合、効果は本人および周囲の方々には、なかなか実感できない。ワクチンの効果を紹介します。

1. 小児の重症細菌感染症

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種となり、2008~2010年と比較して、2013年ヒブによる化膿性髄膜炎の罹患率は98%減少、肺炎球菌による化膿性髄膜炎は61%減少した。2014年にはヒブによる化膿性髄膜炎症例はゼロとなった。

2. 麻しん排除の認定

2015年、麻しん排除の認定を受けた。この状態を維持していくには、95%以上の麻しん・風しん混合(MR)ワクチン接種率が必要である。

3. 水痘

定期接種化されて以降、毎年繰り返されていた11~12月の流行ピークがなくなり、2015年は調査が開始されて以降、最も少ない報告数となった。2016年も同様の状況である。

「保育と保健ニュース」岡田賢司教授 抜粋

意外と知らない「目薬」のコト

●なぜ貸し借りはダメなの？

気をつけていても、目薬をさす時に容器の先端がまつ毛やまぶたに触れてしまって、涙や目ヤニ、目の中にある細菌が目薬に入り込むことがあります。その目薬を借ると、持ち主の目の中の細菌や病気がうつることも…。

また、症状は同じでも、
体質に合わないことも。貸し借りは絶対にダメです。



●点眼後は目をパチパチさせる？

「目をパチパチさせたほうが早く吸収する」というのは間違いで、パチパチまばたきをすると目薬が喉の方へ流れてしまいます。正解は、しばらくまぶたを閉じるか、軽く目頭をおさえてじっとすることで。

